

第60回学術講演会（ファジィフロント）のご案内

テーマ：認知工学・感性工学の研究と実践

日本知能情報ファジィ学会関東支部では、下記の通り、第60回学術講演会を開催いたします。どなたでもご自由に参加できますので、当日直接会場までお越し下さい。

■主催：日本知能情報ファジィ学会関東支部

■日時：2008年6月28日（土）15:00～16:30（懇親会は17時から19時まで）

■会場：東京工業大学 田町キャンパス イノベーションセンター 708号室

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6 交通手段：JR線田町駅下車徒歩2分

先行地図：<http://www.titech.ac.jp/access-and-campusmap/j/tamachi-campusmap-j.html>

懇親会は田町駅（および東工大田町キャンパス）付近

■講演1 産業における認知工学・感性工学の研究と実践

野本弘平 先生

（三菱電機(株)デザイン研究所インタフェースデザイン部 主席技師長）

（東京工業大学 大学院総合理工学研究科 連携教授）

高度成長時代には、製品に新機能や高性能ばかりが求められていたが、現在では使い手と製品との関係が重視されるようになった。このため、産業界では製品のヒューマンインタフェース研究に取り組むようになり、ユーザにやさしい製品を提供するための実践的な取組が為されている。一方、学術界においては人間が対象物や外界をどのように捉えているかということ扱う認知工学や感性工学の研究が盛んである。本講演では、この認知や感性が、ユーザに受け入れられる製品開発のために必要な現実的課題であることを述べ、総合電機メーカーが扱う各分野のヒューマンインタフェースにおいて、どのように取り組まれているかということを紹介する。

■講演2 さりげないコミュニケーション可能なマスコットロボットシステム

廣田薫 先生

（東京工業大学 大学院総合理工学研究科 教授，COE21ABSSSプロジェクト1PL）

次世代ロボット共通基盤開発プロジェクトにおいて開発されたロボット用音声認識モジュールの実証実験と、複数のロボットのRTM（ロボットテクノロジーミドルウェア）での自由なネットワーク接続の実証実験を目的として、東京工業大学廣田研究グループと首都大学東京高間研究グループが研究開発してきた「人間とさりげないコミュニケーションを実現可能なマスコットロボットシステム」を紹介する。

■参加費用

講演会は無料、懇親会(5,000円)、参加希望者は6/20(金)までに董に申し込み願います。

■お問合せ先：

董 芳艶 東京工業大学 大学院総合理工学研究科 知能システム科学専攻

e-mail: tou@hrt.dis.titech.ac.jp

泉 隆 日本大学理工学部電子情報工学科

e-mail: izumi@ecs.cst.nihon-u.ac.jp

岩田 満 シナジーメディア株式会社

e-mail: miwata@synergymedia.co.jp